



令和4年度
事業報告書



◆令和4年度法人方針と活動状況について

◎はじめに・・・

新型コロナウイルス感染症を5月8日付で「5類感染症」（インフルエンザと同等の分類）へ引き下げることになりました。今後マスクの着用についても任意となり、3年もの長い期間が過ぎ、ようやく以前の生活に戻って来たと感じます。またこの1年においては、ウクライナ問題が起因から、食品及び燃料の高騰など、厳しい社会経済情勢となり、生活に大きく影響を及ぼしました。また主に大企業が、大幅なベースアップを行ない、社員の給与改善が図られてきました。

来年（令和6年）度は、報酬改定が行われます。コロナに対する財政支出や防衛費拡大といった国の支出が増加する中ではありますが、物価高騰などにより施設経営が困難になっている法人が増えております。また一般企業が給与改善を行ったことで、社会福祉への就職希望者が減少しており、すべての面で経営が難しくなっております。令和5年度中に、報酬改定の骨子が作られていきますが、法人努力で賄えない部分の埋め合わせが可能な改定ができてくることを楽しみにしております。

以和貴会におきましては、令和3年度の大改革により経営状況は一変しました。令和4年度は、その経営を継続しつつ、経費管理の徹底を行なうこととなりました。しかし、人件費の増加や食材及び光熱水費の高騰など費用支出を抑えることができませんでした。

令和5年度においては、引き続き経費の管理を徹底し、予定の収支を確保できるように運営をしていきます。その一方でゆらくの里は、旧棟（いぶき棟、みのり棟）の改修を進めるため、改善案を出し進めていく計画を立てていきます。また法人内の他施設においても老朽化が進み、改修必要個所の確認と修繕計画が必要となっております。地域においては、グループホームの新規オープンも検討しております。これらを令和5年度中に実施する際には、確保した収支及び積立を有効に使用して行き、理事会等において補正予算の初任を得て進めていきます。

今後も、地域の方々の協力と感謝をもって、ご利用者様および職員にとってより良い法人で居続けることができるよう運営をしていきます。

「変化と考働の完遂」

法人方針に対する各事業の目標設定と活動結果報告

1. 各事業 令和4年度取組み報告

□ゆらくの里拠点

ゆらくの里は、旧棟（いぶき棟・みのり棟）の改修を計画のイメージを図る為、1月末に長崎の入所支援施設「普賢学園」（令和3年に自閉症支援に特化した施設建て替え）を見学に行きました。完全に個室化、ユニット化されており、プライバシーがしっかり守られた施設で大変参考になりました。全職員に改修に関してのアンケートを取り、まずはご利用者様目線で過ごしやすい環境であること、また、職員にとっても働きやすい環境になる様に改修計画を進めていきます。

また、令和3年度からの取組み継続案件である「グループ制」については、コロナも落ち着き始め、活動の方も安定して実施できるようになり、支援構築を図れるようになってきました。

令和4年度のゆらくの里の事業方針である「ご利用者も職員も楽しいゆらく」を実践していくため、ご利用者様目線での生活を考え、時には会議にてみんなで確認し合い、職員一人一人が「我がごと」として「変化と考働」の方針を意識し支援を行いました。

サービス管理面

令和4年度は、QOL（生活の質）向上、自閉症支援の再構築、口腔ケアをゆらくの里において業務分掌化し、重点的に取り組んできました。

QOLの向上に関しては、特にいぶき館内臭気の改善に取り組みました。館内換気を徹底したことで、取り組み前に比べると、大きく改善が図られ、不快さを無くすことができました。

自閉症支援に関しては、6名のメンバーで自閉症プロジェクトチームを立ち上げ、1年間、同じメンバーで取り組むことで、共通した認識を持ち学ぶことができました。またメンバーは各グループから選出していることで、グループ会議等にて、共通した情報の共有を図りました。令和5年度は、更に専門的支援を統一して実践できるようにコンサルテーションを導入していきます。

口腔ケアに関しては、歯科衛生士が週3回、グループごとに口腔ケアを実施し、

ご利用者様1人1人の口腔内の状態も大きく改善でき、支援者側の口腔ケア技術・口腔ケアに対する意識の向上にもつながりました。

財務管理

令和4年度は、ゆらくの里・風鈴山荘の満床を目指して取り組んできました。最終3月末において、ゆらくの里（60名定員）は、2名の方が入所されましたが、2名の方の死去に伴い58名のままとりました。風鈴山荘（14名定員）は、定員を14名から16名に変更し、3名の方と契約ができ満床にすることができました。ゆらくの里の空室に関しては、他施設から1名の方が来られる予定でしたが、強度行動障害を有しており、ゆらくの里の環境に馴染めず、現状入所にはつながっておりません。今後も受け入れる方向で、現入所施設職員と連携を図ります。

短期入所に関しては、ゆらくの里（目標60%）及び風鈴山荘（目標40%）共に目標を達成できませんでした。しかし、利用向上を図りため1年間を通して、相談事業所・学校関係・児童養護施設等との連携を積極的に進め、また地域の緊急ショートも積極的に受け入れてきました。結果、新規利用契約を15名増やすなど、利用率向上につながる取り組みは行うことができました。

現状、将来において入所希望を考えられている方が2名おり、短期入所の利用を増やし施設環境に慣れていただき、いつでも入所できるように支援体制を整え、今後も継続して入所希望待機者を増やしていき、経営の安定化を図ります。

人材育成

新人育成に関しては、従来からのメンター制度を活用しながら、先輩職員が新人職員に丁寧にアドバイスをこなうことで信頼関係を築きました。

新人職員4名は、まだまだ、個人個人で不安な部分は持っていますが、体調面において崩すことなく、お互いが協力し合って、業務に取り組んできました。令和5年度も継続して育成をおこなっていきます。

リーダー育成に関しては、例えば、会議の進め方として、次月の取り組み課題を明確化、PDCAサイクルの活用について意識して取り組むように指導してきました。また、職員間での情報共有の周知徹底においてもリーダーを中心に行い、チームとしての支援体制の構築も図ってきました。

□今人拠点

▶ワークサポートセンター今人

令和4年度は、新規利用者獲得に向けた取り組みを行うとともに、活動の充実を目指し、ご利用者様主体になるよう活動内容や作業の役割分担などを見直し、ご利用者様自身の達成感や自己肯定感を高めていくことに努めました。また、安定した

事業の継続の為、就労収支の改善に向け、各活動において「収入を増やす」ことを目標に掲げ取り組みました。

収入を増やすアクションの1つ目として、新規利用者獲得を実行しました。結果を出す方法として、関係機関（特別支援学校、相談支援事業所、障害者職業支援センター等）と連携及び事業所見学や実習を積極的に受入れました。その結果、令和4年度中に生活介護3名の新規利用者の獲得に繋がりました。

また就労収支の改善事項として、「ふえりーちえ」については、パンの売り上げを向上させるために、イベント販売にも積極的に参加し販売を行ないました。結果、ふえりーちえの就労収入は前期比127.2%の9,865,395円まで増加させることができました。そ〜じやについては、令和4年度、高齢者施設の委託清掃業務がコロナ感染対策の影響による制限継続のため、コロナ前の収入を確保することが困難でありましたが、尼寺廃寺跡清掃など新たな活動の獲得やオプション清掃の実施により就労収支は、プラスの実績を残すことができました。

生活介護事業は、新規のご利用者様も入り、年間利用率は向上しましたが、令和5年度は利用率100%を目指し取り組んでいきます。

就労継続支援B型については、令和4年度は大きく下げる結果となりました。長期でお休みされる方や通院等でお休みされた事が要因となっております。令和5年度の目標は、B型の新規ご利用者様を2名以上の獲得ができるよう取り組んでいきます。

今後の課題として、ご利用者様のニーズ把握に努め、利用したいと思っただけの魅力のある事業所作りを実施していきます。

▶我楽（GALA）

○生活介護「さぽーと」

令和4年度も継続して「自閉症や強度行動障害のある方への支援の充実」を目標に専門性の向上やICTを活用するための研修受講、情報収集に取り組んでおります。特に昨年度から取り組んでいるICTについては、タブレット学習のアプリ（ご利用者様の状態や障害特性に応じ活用できる知育アプリや簡易なゲームなど）をご利用者様とともに取り組んだり、スケジュール支援の中でもYou tube動画を観ていただいたりしており、タブレット操作になれていただくところから始めている方もおられます。

今後も引き続きICT機器も活用して、ご利用者様に活動や生活の仕組みをわかりやすく伝え、ストレスや混乱を減らし不安を軽減させることができるよう取り組みます。また、ご利用者様とのコミュニケーションツールとしても活用できる適切なアプリを使っただけの支援方法も検討し取り入れていきます。

○就労継続支援B型「モンステラ」

ご利用様が主体的にできる仕事を増やし、やりがいや働きがいを感じていただけるような支援を提供することを目標に日々の活動を行ってきました。また生産工程の細分化による作業効率の向上やご利用様の障害特性・能力に対応した担当業務の細分化などの見直しを実施しました。

▶すみれの里

令和4年度、新型コロナウイルス感染症は、徐々に収束の兆しが見えておりますが、すみれの里における活動に対しては、まだ影響が続きました。その状況下において、新たな発生を防ぐために、手洗いやうがいの支援、館内消毒など多数の感染予防対策を講じつつ、ご利用様に対する生産活動や創作活動、運動リハビリ等の活動に日々取り組みました。

健康管理支援の一環として、継続中の「口腔ケア」についての取り組みを強化させました。口腔ケアの目的は、口の中を清潔にするだけでなく、歯や口の疾患を予防し、口腔の機能を維持することにあります。口腔内を清潔に保つことはQOLの向上のみならず誤嚥性肺炎などの全身疾患の予防、全身の健康状態の維持・向上につながります。すみれの里ご利用様の健康管理にも努め、ご利用様が健康で生き生きと、住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、日々の活動をこれからも提供します。

地域とのつながり

▶音楽：月1回 ボランティア1名 参加ご利用者平均 18名

電子ピアノで季節の音楽や利用者さんのリクエスト等に応じて演奏をして頂き、一緒に楽しく歌う活動。

▶ふたば(喫茶)：月1回 ボランティア9～10名 参加ご利用者平均 21名

紅茶とお菓子をを用意して頂き、喫茶店風に利用者さんと一緒に飲食を行う活動

▶ふたば(クラフト)：月1回 ボランティア1～2名 参加ご利用者平均 7名

季節に応じてペーパークラフトを用意して頂き、利用者さんと一緒に工作を行う活動。

▶口腔ケア（奈良県歯科衛生士会派遣）：偶数月の隔月

ボランティア2名 参加ご利用者平均 21名

口腔ケアに関してのレクリエーション活動と集団歯磨き指導。

※令和4年度は、コロナ禍の影響が少なからず残っていた為、高齢の方中心のふたばボラ（喫茶）のメンバーを配慮して代表者と実施有無の相談や、他ボランティア受け入れに関しても、感染予防策を講じながら細心の注意を払い実施を行っております。

職員配置

生活介護では、職員の増員による支援の充実を図るため、新規ご利用者様の獲得に力を入れております。また、重度障害者支援加算取得の為の職員配置を継続しています。前年度からの増減もなく、安定した職員配置になっております。

正規スタッフ：5名

パートスタッフ：17名（看護師含む）

新規ご利用者様受け入れ

奈良県立西和養護学校・奈良県立高等養護学校・相談支援センターから施設利用につなげる為の実習受け入れを行っております。令和4年度4名の新規ご利用者様との契約に繋げることができております。

生活介護：3名

就労継続B型：1名

ご利用者様のニーズ

ご利用者様の抱えている障がい特性や状況（休みがちになられる）に合わせ、個別支援や家庭訪問等のサポートを実施しております。外出機会を活動内容に多く取り入れ、社会参加へのサポートなども取り組んできました。現状のご利用者様のニーズにあった活動内容の提供（年齢・障害の程度など）も検討が必要になっておりますので、課題として整理できる部分は整理していき、ご利用者様のニーズに沿った新たな活動についても模索していきます。

ご利用者様の健康管理

健康診断結果後の嘱託医からの指導及び助言、その内容をご家族様に連絡し、生活面におけるご提案を継続実施。歯科検診を含めた口腔ケアも継続して取り組み、健康面の維持・増進に力を入れてきました。また、法人職員の歯科衛生士とも連携し、専門的なケアの取り組みを実施しております。

今後もお利用者様の健康増進に繋がる口腔内衛生を重点的に進めていきます。

□地域拠点

▶HUG・LIVE・JOY

令和4年度は、新型コロナウイルスによる影響も徐々に収まり、比較的安定した利用受け入れを行うことができました。

上半期に利用人数が伸び悩んでいたJOYクラスについても、利用希望があった際に保護者様にJOYの見学や利用契約のご案内を続けたことで利用人数も増加し、

上半期平均利用率「77.5%」から下半期平均利用率「82.9%」まで改善することができました。

児童部門全体で見ても、上半期の平均利用率 83.3%であるのに対して、下半期は平均利用率 87.6%まで回復し、通年での平均利用率は「85.4%」という結果を残すことができました。目標としていた平均利用率 90.0%には未達となりましたが、令和5年度でも目標達成に向けて、着々と新規契約児童を増やししながら利用率の向上を続けております。

サービス向上のための取り組みとしましては、iPad を活用した学習支援及びビジョントレーニングを実施しました。計算や漢字の練習など、プリント形式では集中力が続かなかった児童も、iPad のアプリで同様の課題を提供すると興味をもち集中して課題に取り組むことができました。ビジョントレーニングについては、発達障害の診断を受けた児童に多く見られる眼球運動の苦手さを改善し、目の動きを滑らかにできるように支援を続けてきました。ゲーム形式で楽しみながら取り組めるように工夫したことで、集中力の持続時間の向上及び目標物を正確に捉えることが少しずつできてきている様子が見られました。

また、2月には兼ねてから計画を進めておりましたシャワールームも完成し、将来に向けた自立支援として、洗身洗髪や歯みがき、髭剃りなどの清潔保持のための訓練を取り入れていっております。

令和5年度は目標としている収支差額及び利用率の達成並びに更なる支援内容の充実を目指して支援を続けていきます。

▶相談支援事業（しえ〜く）

「8050 問題など地域の情報を得るための連携と社会資源の活用」の事業方針を達成するために、関係機関との連携を深めてきました。具体的には、行政への訪問や自立支援部会各会へ参加などを通して、関係性の強化と連携、情報の収集や提供を積極的に行いました。特に香芝市においては障害福祉課だけでなく、介護保険課や生活支援課とも連携を密に取ることで、地域で生活しておられる方への関わりを深めることができました。それにより、ライフステージに寄り添った、継続的な支援の取り組みを進めることができたと考えます。

また、事業所や相談者への連絡や対応も状況に応じて行い、信頼関係が深まるように取り組んできました。その際に、見聞きした情報は他部署へ伝え、利用率向上に繋がる取り組みも行なってきました。これにより依頼を受けた21件の内、14件を新たな法人利用に繋げることができました。6件に関してはこれまでより利用回数が増加しましたが、1件に関しては残念ながら繋がりませんでした。

財務管理に対しては、新規の相談者（27件）の受け入れとモニタリングの実施を

精力的に行ったことで、収入が予算比 128.8%増の 1,659 万円。支出は、人件費の増加もあったことで、予算比 102.9%の 1,585 万円となっています。その結果、収支差額は 73 万円を残すことができました。

人材育成は、年度途中からの取り組みでしたが、さまざまなケースに対応できるように、毎月テーマを決めディスカッションを実施し、専門性の向上を目指す取り組みを行なっています。

▶共同生活援助事業（グループホームのあ）

地域生活支援の継続および増加する地域生活希望ニーズを実現するためにアクションプランのもと取り組みました。

- ①一人ひとりが快適な生活が送れるよう、加齢や障がい特性に応じた食事提供内容と居室場所の改善。
- ②新規グループホームに向けた収支管理強化のため、継続的に把握・管理し最大収益率の維持。収益に重大な影響が出る想定外の退所者発生時には俊敏に対策を講じ、退所 1 ヶ月後には新規ご利用者様に入居していただきました。
- ③良質なサービス提供のため、コミュニケーション力・対人援助技術・福祉制度の理解に取り組みました。

4 年間積み重ねてきた地域生活支援の実践と世話人・夜勤者育成が、次年度設立予定しているグループホームの体制につなげ、ご利用者の様々なニーズが実現できるよう業務を遂行していきます。

▶ヘルパー事業（そ〜る 1 2 3 居宅介護・行動援護・移動支援）

令和 4 年度下半期も継続して「利用者ニーズの再度掘り起こし」という事業方針に基づき、新規利用者の獲得と現在利用中の方のスケジュール調整などの聞き取りを行いました。その結果、契約利用者が 86 名から 99 名で 13 名増加しました。100 名の契約者数を目標に掲げていましたので、目標を達成する事ができませんでした。

コロナの影響は、12 月までは大きくあり、急なキャンセル等が多数ありましたが、1 月以降コロナの影響も緩和され、急なキャンセル等が減少し利用数も増加しました。

令和 2 年度からそ〜る事業を拡大したことで、そ〜る事業が地域の保護者様にも周知され、地域利用者の利用ニーズが増加してきました。特に夕方の利用希望の増加（放課後等デイサービスを利用されていた方が、卒業後、成人通所事業所を利用

されておりますが 16 時で利用時間が終了します。家庭の都合で、その後の 16 時～18 時の間を支援して欲しいという希望が多くあります。) や男性支援者が対応する必要がある利用希望や土日祝の利用希望の増加など様々なニーズがあり、これらのニーズに対応していくために来年度は、他部署との連携を今以上に強化、また、人材を確保する為に登録ヘルパーの募集等を積極的に取り組んでまいります。

○利用率

① ゆらくの里（入所支援事業） 定員 60 名

	R04.4.1	増加	減少	R05.3.31	平均年齢	平均年数
男	39	1	2	38	47.7	17.4
女	19	1	0	20	54.7	21.3
計	58	2	2	58	50.1	18.7

※1名が入院、1名が死亡による減少。5名が新規で入所されました。

ゆらくの里（生活介護事業） 定員 60 名

	R04.4.1	増加	減少	R05.3.31	平均年齢	平均年数
男	52	4	2	54	46.8	18.2
女	20	1	0	21	53.3	20.4
計	72	5	2	75	48.6	18.8

風鈴山荘（共同生活援助） 定員 16 名

	R04.4.1	増加	減少	R05.3.31	平均年齢	平均年数
男	13	2	0	15	45.9	21.3
女	0	0	0	0	—	—
計	13	2	0	15	45.9	21.3

※平均年数は、ゆらくの里の入所と通算で記載

※風鈴山荘の定員は、令和5年3月に14名から16名に変更しました。

② 今人

事業名	定員	R02年度 利用率	R03年度 利用率	R04年度	
				延べ人数	利用率
就労継続B型	10	94.7	88.3	2047	77.0
生活介護事業	20	74.1	82.7	4402	83.4

我楽

事業名	定員	R02年度 利用率	R03年度 利用率	R04年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	20	99.8	104.4	5240	99.2
就労継続B型	10	99.9	97.5	3077	120.7

すみれの里

事業名	定員	R02年度 利用率	R03年度 利用率	R04年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	20	70.2	77.3	4148	78.6
就労継続B型	10	68.6	56.7	1462	57.3

③ 放課後等デイサービス

事業名	定員	R02年度 利用率	R03年度 利用率	R04年度	
				延べ人数	利用率
はぐらいぶじょい	30	81.2	86.1	7247	87.2

※令和4年4月1日より「ゆらくの里デイ」を「はぐらいぶ」に吸収させ「はぐらいぶじょい」とし定員30名の施設となりました。

※令和2年度、3年度は2事業合計した実績で表記

のあ

事業名	定員	R02年度 利用率	R03年度 利用率	R04年度	
				延べ人数	利用率
共同生活援助	14	99.1	99.5	4819	96.6

※令和4年8月1日よりサテライトを開始し定員が14名に変更

○利用契約者数

過去よりゆらくの里の入所をはじめ、定員に満たない事業所がありました。良い支援を行うためには、利用率を上げ高い水準で収入を確保することから始める必要があることを意識し、ご利用者の充足を図りました。令和5年3月31日現在、定員に未達の事業もありますが、引き続きご利用者の獲得を進め、同時に職員の適切な配置と支援の充実を進めていきます。

① 今人

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		令和4年4月1日	令和5年3月31日		
就労定着支援		2	0	↓	—
就労継続B型	10	11	10	↓	1.00
生活介護事業	20	20	21	↑	1.05

我楽

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		令和4年4月1日	令和5年3月31日		
生活介護事業	20	25	25	→	1.25
就労継続B型	10	14	15	↑	1.50

すみれの里

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率	
		令和4年4月1日	令和5年3月31日		
生活介護事業	20	21	25	↑	1.25
就労継続B型	10	6	7	↑	0.70

② 放課後等デイサービス

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率	
		令和4年4月1日	令和5年3月31日		
はぐらいぶじょい	30	40 72	107	—	3.56

※令和4年4月1日より「ゆらくの里デイ」を「はぐらいぶ」に吸収させ「はぐらいぶじょい」とし定員30名の施設となりました。

※期首の人数は、旧2事業の契約者数であり、重複したご利用者もいるため、期末の契約者数と比較はできない。なお、期首と同条件で期末の契約者を算定すると135名となります。

③ 短期入所

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率	
		令和4年4月1日	令和5年3月31日		
ゆらくの里 短期入所	10	48	47	↓	4.70
風鈴山荘 短期入所	2	12	11	↓	2.75
のあ 短期入所	1	2	12	↑	12.00

※のあは、令和3年8月1日より定員1名で開設。

※風鈴山荘の定員は、令和5年3月に4名から2名に変更。

□令和4年度職員状況について

令和4年度は法人全体として、正職員は4名増、非正規職員は8名増加しました。ご利用者の増加への対応及び充実した支援の実施につなげるため、これからも適正配置を意識した雇用を継続していきます。

正規職員の採用は、新卒5名を雇用できました。また退職者はおらず、安定した雇用ができておりますが、年度内に最大4名の育児休業取得者がいたこと、体調不良で退職される方もいたことなど、実際には不足傾向にあったことから、非正規職員の雇用とゆらくの里においては、派遣職員を活用して支援を行っております。令和5年度は、新卒者が0でありました。若い職員の採用を継続していく予定であります。

事業名	R4. 3. 31			R5. 3. 31			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢		
	人数			人数				男	女	計	男	女	計
	男	女	計	男	女	計							
ゆらくの里													
サービス管理責任者	2	0	2	2	0	2		9.4	6.9	8.3	42.3	39.4	41.1
正職員	16	12	28	17	14	31	31.0						
パート職員	18	15	33	20	16	36	16.4						
計	36	28	63	39	30	69	47.4						
今人													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		12.2	5.0	9.8	38.5	34.2	37.0
正職員	3	1	4	3	2	5	5.0						
パート職員	1	7	8	1	7	8	3.9						
計	5	8	13	5	9	14	8.9						
我楽													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		9.9	9.7	9.8	46.4	48.8	47.4
正職員	4	3	7	3	3	6	6.0						
パート職員	3	18	21	5	20	25	14.6						
計	8	21	29	9	23	32	20.6						
すみれの里													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		15.0	11.5	13.2	45.2	40.8	43.0
正職員	2	3	5	2	3	5	5.0						
パート職員	3	14	17	3	14	17	9.5						
計	6	17	23	6	17	23	14.5						
はぐ・らいぶ・じょい													
児童発達支援管理責任者	2	1	3	1	0	1		11.0	4.6	6.1	32.9	27.4	28.6
正職員	1	6	7	1	7	8	8.0						
パート職員	3	3	6	2	3	5	4.1						
計	6	10	16	3	8	11	12.1						
しえ〜く													
正職員	1	1	2	1	1	2		12.2	7.4	9.8	47.6	50.8	49.2
パート職員	0	1	1	0	1	1							
計	1	2	3	1	2	3							
事業企画推進室													
正職員	1	1	2	2	1	3		5.5	1.2	4.0	37.6	31.2	35.5
パート職員	-	-	-	-	-	-							
計	1	1	2	2	1	3							
のあ													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		7.9	16.0	12.0	48.9	57.9	53.4
正職員	0	1	1	0	1	1	1.0						
パート職員	1	8	9	2	12	14	6.3						
計	2	9	11	3	13	16	7.3						
そーる 123													
サービス提供責任者	1	1	2	1	1	2		4.1	14.5	11.0	44.9	49.8	48.2
正職員	0	0	0	0	1	1							
パート職員(登録)	1	4	5	1	4	5							
計	2	5	7	2	6	8							
管理													
正職員	4	3	7	4	3	7		15.2	12.9	14.2	56.2	51.0	54.0
パート職員													
計	4	3	7	4	3	7							
厨房													
正職員	3	1	4	3	1	4		9.9	17.0	11.7	42.5	52.8	45.1
パート職員	3	8	11	2	9	11							
計	6	9	15	5	10	15							
合計													
サービス管理責任者	9	2	11	8	1	9		10.4	8.2	9.4	43.5	40.1	41.9
正職員	34	33	67	36	37	73							
パート職員	32	78	110	36	82	118							
計	75	113	188	805	120	200							

※看護師はゆらくの里に含み、アルバイト職員は含んでいない。
 ※パート職員の常勤換算数は、簡易算出として給与支給計算期間の令和5年3月支給の給与期間により算出しているため、あくまで参考である。(常勤の月勤務時間数を150時間で計算)
 ※合計欄の「サービス管理責任者」には、「児童発達支援管理責任者」及び「サービス提供責任者」を含む。
 ※そーるのパートは、法人外の雇用ヘルパーのみ記載し、職員の兼務者は含まない。

□令和4年度残業について

昨年までは、「働き方改革」により業務の改善を進め、残業時間は減少傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症対応及び活動充実に伴い、時間外対応が必要となりました。また各事業において、無駄な時間外業務は減少したものの、ご利用者の重度化対応、休日開所の計画や準備など新たな発生要因となっております。

〔時間〕

単位：時間

分類	R02年度	R03年度	R04年度			
			人	時間	増減率	1人/月
ゆらくの里	2157:45	2690:45	45	3917:30	+45.5%	7:15
通所	1772:15	1537:30	17	2100:15	+36.6%	10:17
地域	1819:00	1674:15	11	1488:00	△11.1%	11:16
計	5749:00	5902:30	73	7505:45	+27.1%	8:34

〔金額〕

単位：千円（1人当たりは円）

分類	R02年度	R03年度	R04年度			
			人	金額	増減率	1人/月
ゆらくの里	4,104	5,047	45	7,643	+51.4%	14,154
通所	3,132	2,849	17	4,306	+51.1%	21,110
地域	3,029	2,853	11	2,725	△4.4%	20,645
計	10,266	10,750	73	14,674	+36.5%	16,752

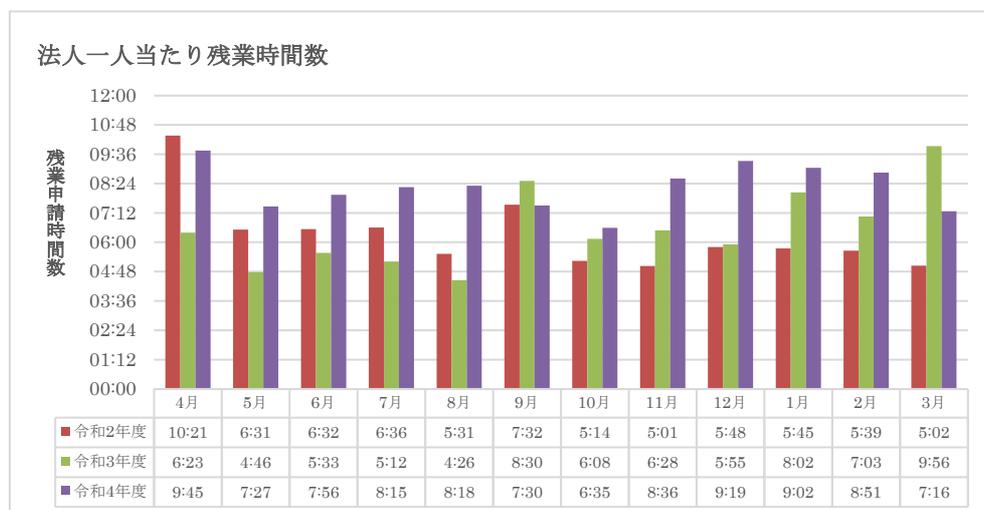
※集計は申請分のみ

※職員数（人）は、時間外を申請した職員数（途中退職者含む）で、管理者は除く。

※分類 ゆらくの里・・・下記以外の事業（間接職員含む）

通所・・・・・・今人、我楽、すみれの里

地域・・・・・・児童、のあ、しえーく



□令和4年度有給休暇取得について

平成31年4月からの「働き方改革」により、年5日の有給休暇の取得が義務化され、令和4年度も、計画通り年5日以上取得は実施できました。しかしコロナウイルスの感染職員が減少するなど健康面での改善や退職者が減少したことでの有給休暇の消化が減少したことで、全体として取得日数が減少しました。

分類	R02年度	R03年度	R04年度			
	取得日数	取得日数	人	取得日数	1人当たり取得日数	未取得者数
ゆらくの里	330.5	523.0	49	359.5	7.34	0
通所	194.5	241.5	18	162.0	9.00	0
地域	110.5	69.0	12	114.0	9.50	0
計	635.5	833.5	79	635.5	8.04	0

※資料は、退職者を含む同期間の正職員全員を対象とする。

※各事業の管理者を含む。

※分類 ゆらくの里・・・下記以外の事業（間接職員含む）

通所・・・・・・今人、我楽、すみれの里

地域・・・・・・児童、のあ、しえーく

□令和4年度事業活動収入対人件費比率について

令和4年度人件費総額は、前年度比110.6%（61,027,894円）増の635,618,219円となりました。要因として、令和3年度の収支が過去最高を記録したことで夏季賞与の割増支給、職員の増加、ベースアップ加算の支給、非正規職員雇用につなげるため、時給upと土日祝の時給割増の設定など、多くの要因が起因した結果であります。しかし、事業活動収入もさらに増加することができ、対収入人件費率は、令和3年度より2.5%増加の64.2%に留まることができました。

「人材」は法人にとって、貴重な「財」であるため、人件費に掛ける費用は更に上昇することが予想されます。収入もほぼ上限に達している現状、いかに上昇率を緩やかに維持できるかが鍵となります。

《ゆらくの里分類》

事業活動収入は、令和3年度より高い水準で推移していますが、人員増加等に伴い約860万円の増加（人件費率61.6%）となりました。現状においても支援員不足ですが、効率よい雇用を行ない、急激な人件費率の上昇は起こらない予定であります。

《通所分類》

人件費は、予算通り、令和3年度と比べ約1000万円増加しましたが、就労収入の増加等により、人件費率は62.3%を維持することができました。

《地域分類》

事業活動収入も令和3年度を大きく上回ったものの、それ以上に人件費が増加したため、人件費率は、69.4%と令和3年度と比べ+4.7%増加しました。

[比率]

分類	R02年度	R03年度	R04年度	
			人件費率	前年度比較
ゆらくの里	60.8%	60.2%	63.3%	+3.1%
通所	73.6%	62.3%	62.3%	±0%
地域	78.3%	64.7%	69.4%	+4.7%
計	67.6%	61.5%	63.9%	+2.4%

※分母の収入には就労収入を含んでおります。就労収入を差引くと法人全体で67.2%（前期比+4.1%）となります。

※分類 ゆらくの里・・・下記以外の事業（本部を含む）
 通所・・・・・・今人、我楽、すみれの里
 地域・・・・・・児童、のあ、しえーく

[金額]

単位：千円

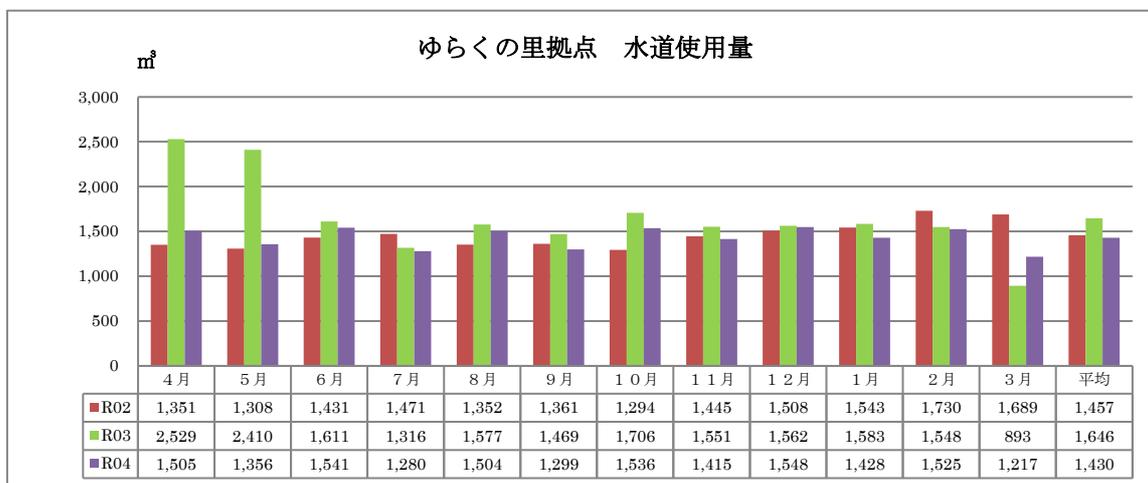
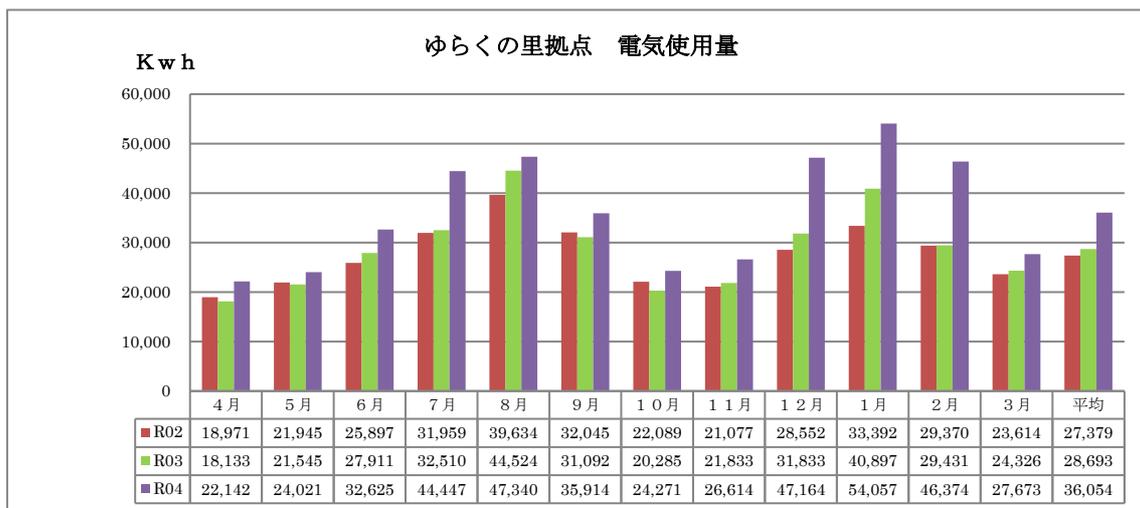
分類	R02年度	R03年度	R04年度		
			人件費	前年度比較	増減率
ゆらくの里	259,787	313,424	348,793	+35,369	111.2%
通所	177,301	166,714	179,493	+12,778	107.6%
地域	105,100	94,450	107,330	+12,880	113.6%
計	542,188	574,590	635,618	+61,027	110.6%

□令和4年度光熱水費について

① ゆらくの里拠点

令和3年度途中よりなごみ棟が完成したことで、電気、水道共に使用量が増加し、また海外情勢等による燃料代高騰で価格もアップしました。なお水道に関しては、令和3年度に漏水があったためこともあり使用量が減少しております。使用量増加に対しては、環境班を中心に光熱水費のムダを減らすため、毎月全職員へ情報の発信を行ない、使用していない部屋の電気やエアコンの確認、無駄な水の使用をなくすように留意しております。また、デマンド装置の設置により電気使用量を減らすなど、新たな対策をもって対策を講じております。

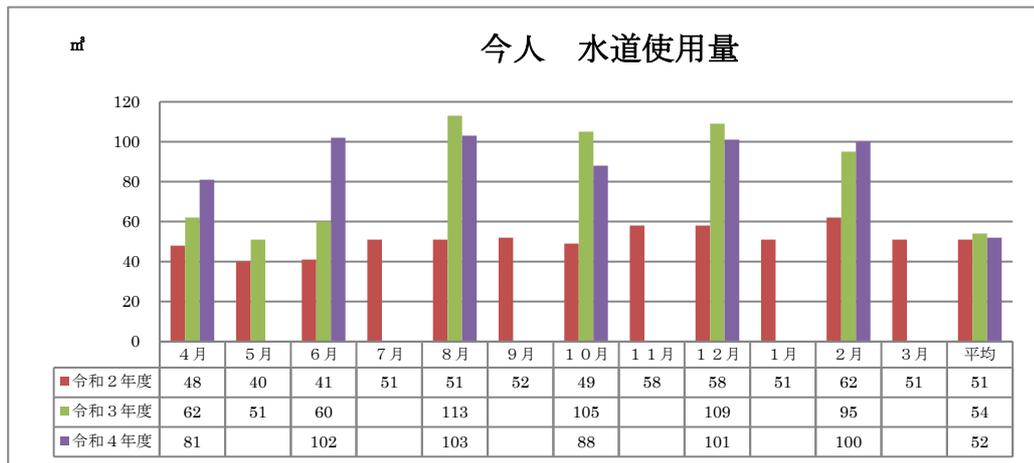
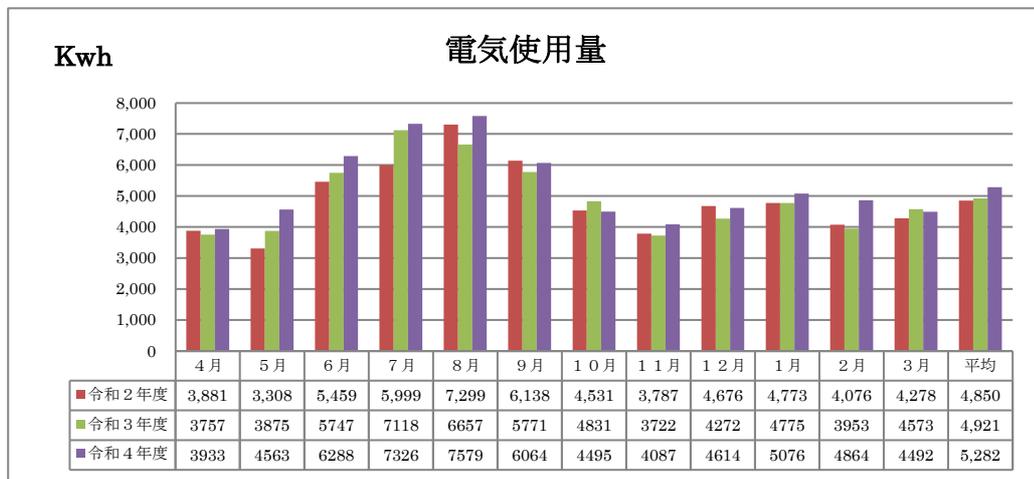
	令和3年度	令和4年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	7,544 千円	11,279 千円	125.6%	149.5%
水道	6,055 千円	5,153 千円	86.8%	85.1%



② 今人拠点（今泉）

電気、水道共に無駄な使用を減らす対策は講じておりますが、令和4年度は、就労事業の売上回復に伴う製造量の増加、及び燃料代高騰による価格の高騰による増加であります。

	令和3年度	令和4年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,207 千円	1,757 千円	107.3%	145.5%
水道	138 千円	124 千円	96.6%	90.0%



③ そら（福祉センター内）

ふたかみ文化センターでの運営において光熱水費は、家賃込で売上の10%となっていたため正確な数字がつかめず、また会計においても計上しておりません。令和4年6

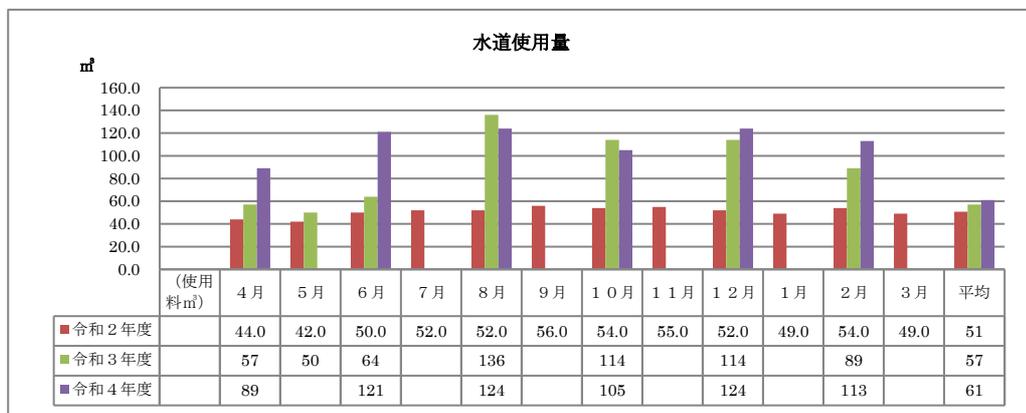
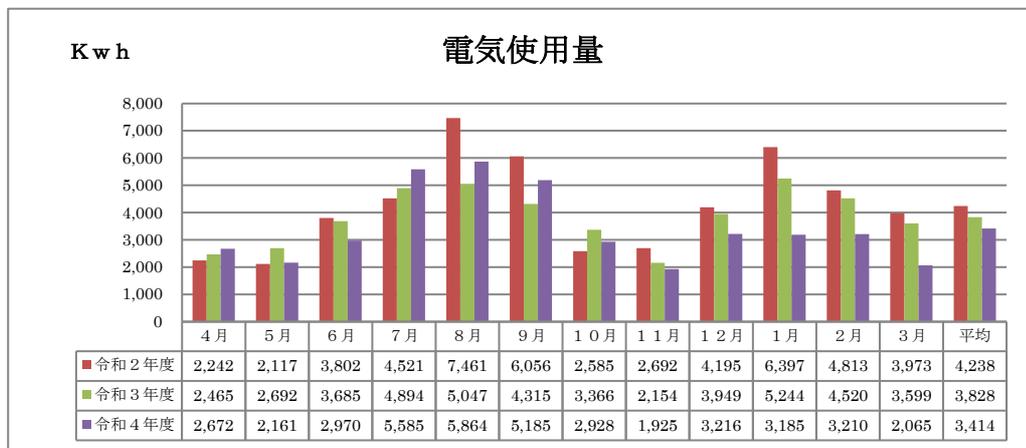
月より、香芝市総合福祉センター内での運営に戻ったことで、光熱水費が把握できるようになるので、再度管理することとします。

	令和3年度	令和4年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	－千円	84千円	－%	－%
水道	－千円	48千円	－%	－%

④ すみれの里

電気、水道ともに無駄なく使用できておりますが、単価上昇に伴い、費用が増加しております。更にムダの削減を意識していきます。

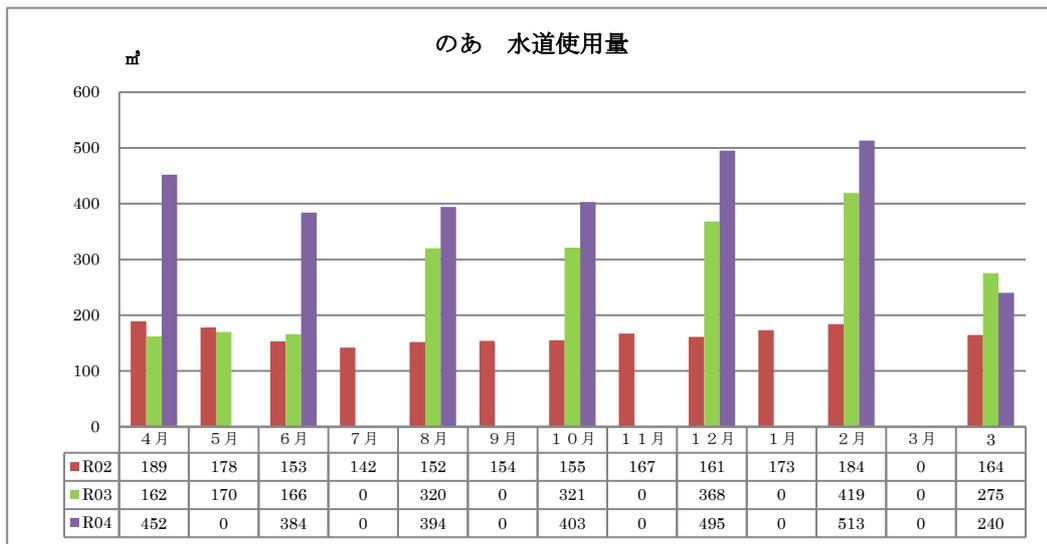
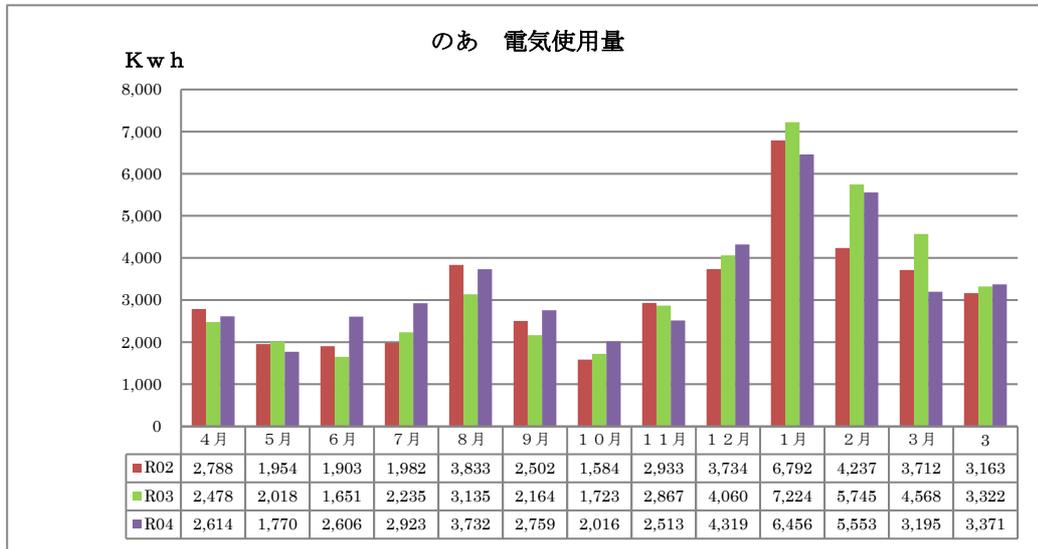
	令和3年度	令和4年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,363千円	1,367千円	89.2%	100.2%
水道	245千円	246千円	108.3%	100.4%



⑤ のあ（穴虫 グループホーム）

電気、水道共に増加しております。理由はサテライトの増加によるものも含まれます。既設建物の使用については、概ね管理ができておりますが、設備の老朽化に伴い、漏水が起こるなど、改修等の検討が必要となっております。

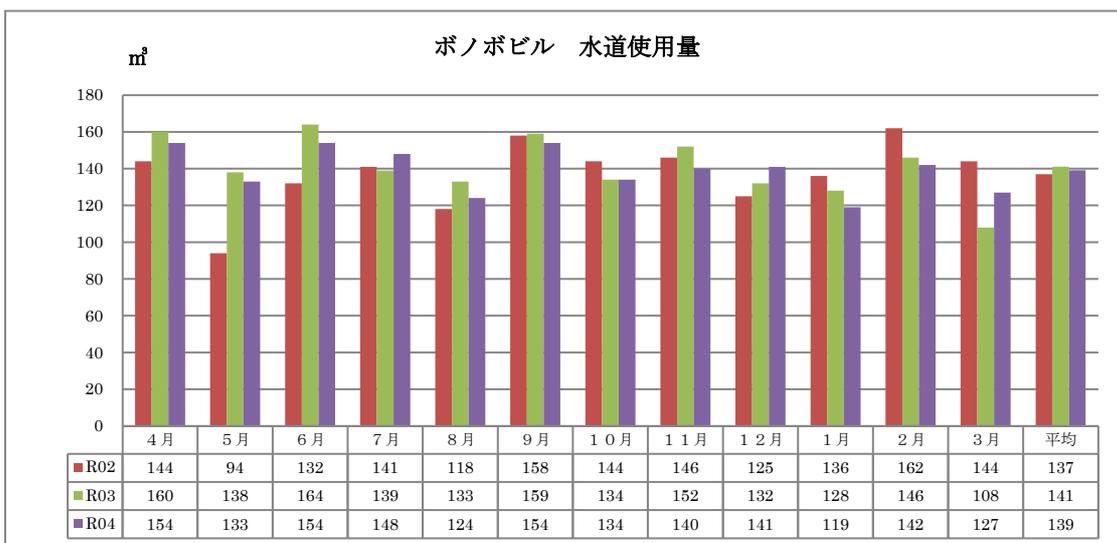
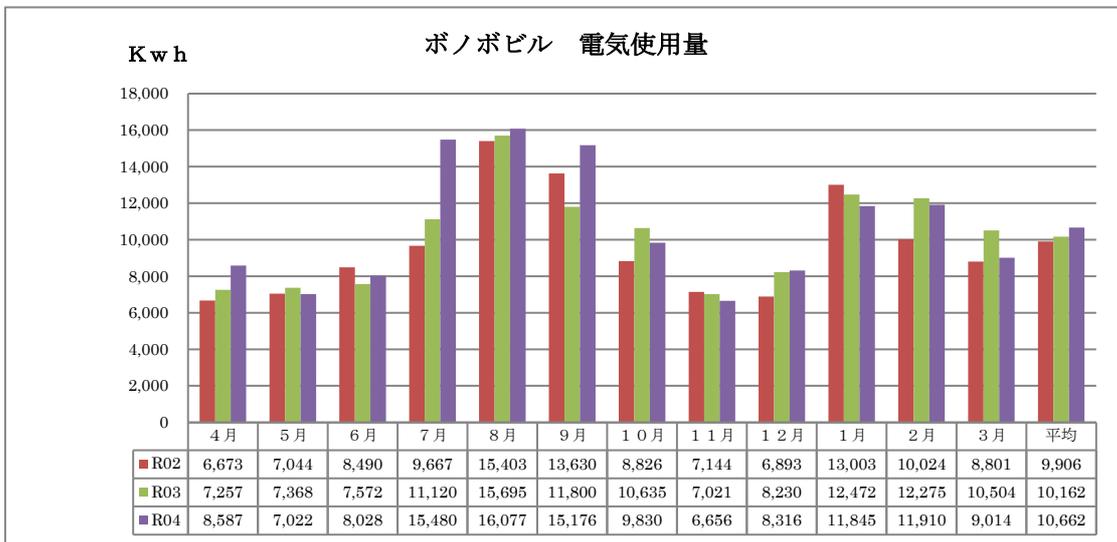
	令和3年度	令和4年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,022 千円	1,189 千円	101.5%	116.4%
水道	300 千円	439 千円	146.2%	150.1%



⑥ ボノボビル（磯壁 地域拠点）

電気の増加は、カフェ及び工場の売上が回復したことで製造量が増加したこともあり、価格増加は燃料費高騰に伴うものであります。職員をはじめビル全体の使用人数が増加しており、増加する要因となっております。

	令和3年度	令和4年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	3,651 千円	4,215 千円	104.9%	115.4%
水道	326 千円	302 千円	98.6%	92.7%



□令和4年度就労支援施設の就労金について

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響も激減し飲食店の売上が大幅に回復しました。各活動の売上回復に伴い、就労収支より工賃支給が可能な事業が増えました。

年々工賃支給総額は増加していくこととなりますが、引き続き予定工賃を支給できるように、活動を活性化させ売上が上がる仕組みを構築し、より多くの工賃を支給できるように支援していきます。

○各事業における1人1カ月当たり支給の工賃（賃金）

（単位：円）

		令和3年度		令和4年度		
		工賃総額	1人当たり/月	工賃総額	1人当たり/月	
今人	就労継続B型	1,949,548	16,383	2,045,565	19,482	↑
	生活介護	2,429,184	10,164	2,825,931	11,259	↑
	計	4,378,732	12,231	4,871,496	13,684	↑
我楽	就労継続B型	2,772,093	20,534	3,275,805	20,221	↓
	生活介護	1,218,169	4,414	1,042,910	3,834	↓
	計	3,990,262	9,709	4,318,715	9,951	↑
すみれの里	就労継続B型	2,103,700	25,972	2,461,840	28,626	↑
	生活介護	692,510	2,737	718,050	2,659	↓
	計	2,796,210	8,372	3,179,890	8,932	↑
合 計		11,165,204	10,123	12,370,101	10,794	↑

○各事業の就労収入に占める工賃（賃金）割合

		令和3年度	令和4年度	
今人	就労継続B型	52.7%	45.1%	↓
	生活介護	35.5%	33.2%	↓
	計	41.5%	37.3%	↓
我楽	就労継続B型	19.9%	16.4%	↓
	生活介護	2394.9%	3852.9%	↑
	計	24.1%	19.5%	↓
すみれの里	就労継続B型	27.8%	18.9%	↓
	生活介護	660.7%	130.8%	↓
	計	36.5%	23.4%	↓
合 計		32.0%	25.3%	↓

※就労収入には、内部売上を含む。

□令和4年度固定資産の推移について

令和4年度、高額な資産の購入計画はありませんでした。多くが予定外の設備不良による更新によるものであります。なお、修繕として風鈴山荘の外壁改修工事（6,556,000円）を行ないましたが、修繕費として処理しております。

◎取得一覧

単位：円

内容	金額	拠点区分	予算
《建物》			
ボノボビル 2階シャワー室設置	1,889,796	地域	○
《車両運搬具》			
児童 アクア（リース ⇒ 買取）	110,000	地域	○
《器具備品》			
カフェ コーヒーメーカー	181,500	地域	
そら 業務用電気フライヤー	385,000	今人	
ゆらくの里 テレビスタンド	130,000	ゆらくの里	
そら 業務用かき氷機	108,898	今人	
ゆらくの里 備品倉庫エアコン	117,500	ゆらくの里	
カフェ 看板（垂れ幕）	133,540	地域	
今人 食堂エアコン	365,000	今人	
今人 パン工房エアコン	280,000	今人	
ゆらくの里 なごみ棟2階テレビ	103,309	ゆらくの里	
ゆらくの里 リネン室エアコン	127,240	ゆらくの里	
ゆらくの里 防犯用カメラ	704,000	ゆらくの里	
計	4,635,783		

◎処分一覧

単位：円

内容	金額	拠点区分	予算
ゆらくの里 厨房内エアコン	1	ゆらくの里	
ゆらくの里 テント	3	ゆらくの里	
のあ エアコン	1	地域	
ゆらくの里 害虫駆除機械	9,388	ゆらくの里	
ゆらくの里 厨房内温蔵庫	1	ゆらくの里	
法人 福祉の森サーバー（旧）	1	ゆらくの里	
そら 給湯器	1	今人	
ゆらくの里 いぶきフリースペーステレビ	54,287	ゆらくの里	
法人 福祉の森ソフト（旧）	70,200	ゆらくの里	
計	133,883		

※同資産処分に伴い、国庫補助金等の取崩額はありせん。

□令和4年度修繕費の推移について

1. 過去3年間の推移

ゆらくの里及びボノボビルの建物やその他の設備において老朽化が進み、修繕事項が増加しております。今後、ゆらくの里においては旧棟の改修工事、ボノボビルについてはエレベーターの更新などの修繕を計画に実施していきます。

単位：円

拠点	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ゆらくの里	2,427,856	6,258,877	13,673,950
今人	608,711	399,902	140,477
地域	904,912	594,543	2,524,581
計	3,941,479	7,253,322	16,339,008

2. 修繕事業別内訳

修繕原因の割合として増加している要因は、設備の老朽化に伴う修繕が増加しております。水回りの修繕、老朽化に伴う更新などの費用が発生しました。

単位：円

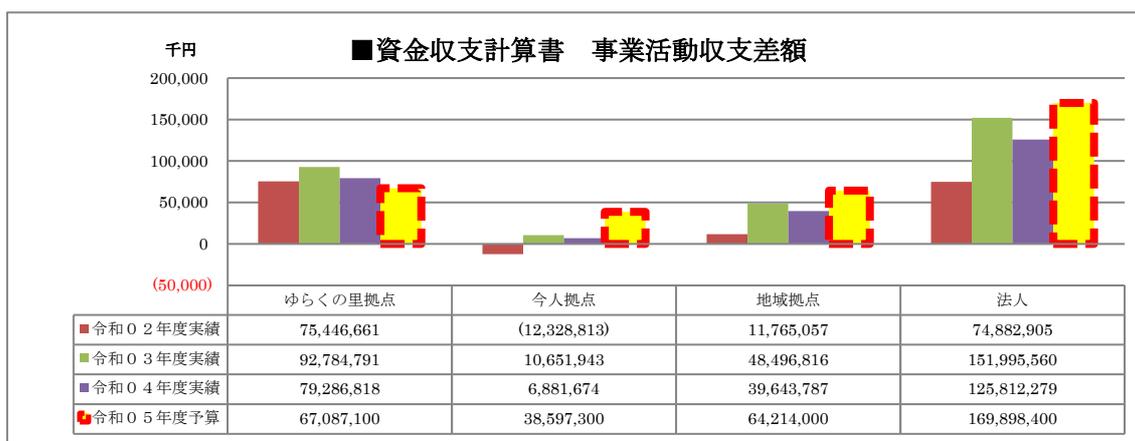
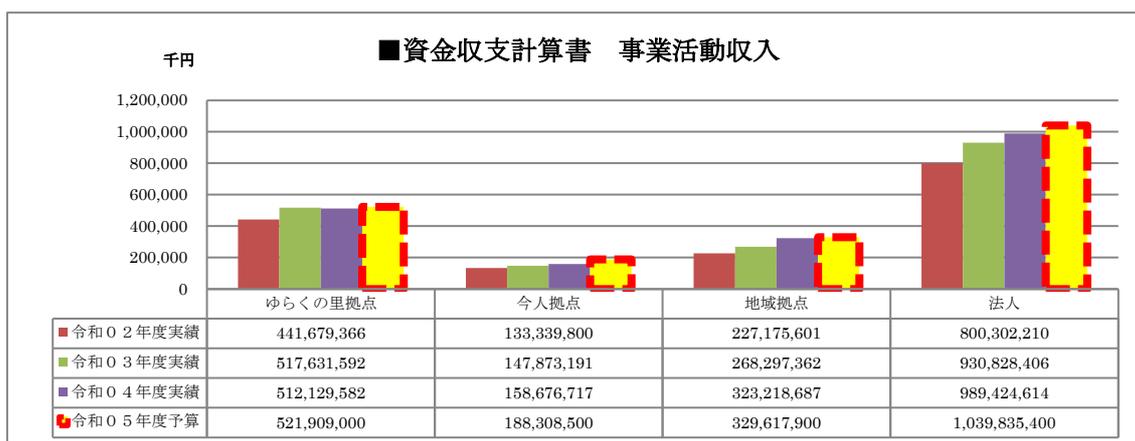
分類	ゆらくの里	今人	地域	計
水回り（機械含む）	2,555,144	—	59,400	2,614,544
ガラス	105,622	—	—	105,622
その他設備	11,013,184	31,976	2,137,821	13,182,981
製造原価	—	108,501	327,360	435,861
計	13,673,950	140,477	2,524,581	16,339,008

□令和4年度 経営成績について

令和4年度は、新型コロナウイルスによる経営への影響は激減し、法人運営は、コロナ前に少しずつ戻ってきております。令和3年度、福祉収入を最大限に算定するための改善を図り実現しました。令和4年度は、伸び率は減少するものの、更に収入増で予算計上するとともに、経費支出を管理することで事業活動収支差額を最大限に確保するとしました。しかし人件費の増加や予定外の経費支出が多く発生したことから、収支差額は減少する結果となりました。特に人件費については、臨時特例交付金（後の「ベースアップ加算」）による給与改善や前年度実績に連動した夏季賞与の支給など増加要素がありました。

就労収支については、飲食関係の売上回復が大きく寄与し、就労収支から工賃を支給できる運営ができるまでに回復しました。

令和5年度は、令和4年度に実現できなかった経費管理の実施と事業活動収支差額の改善に努めるため、毎月の支出管理を徹底していきます。



○拠点別報告

1. 法人全体として

資金収支計算書において、事業活動収入は、58,596,208 円増（前年度比 106.3%、予算達成率 100.7%）の 98,944,614 円、事業活動支出は、84,779,489 円増（前年度比 110.8%、予算達成率 101.6%）の 863,612,335 円、結果、事業活動収支差額は、26,183,281 円減（前年度比 82.7%、予算達成率 94.6%）の 125,812,279 円とほぼ予算に達しているものの、費用増が収入増を上回ったため、事業活動収支差額は、高い水準で確保することはできたものの、大きく増加した前年度を上回ることはできませんでした。

収入の内訳として、就労収入は、飲食業の売上が回復してきたことで、13,062,892 円増（前年度比 141.0%、予算達成率 94.3%）の 44,878,063 円となりました。また、福祉収入は、多数の事業で前年度の実績を上回る運営ができたことから、42,990,159 円増（前年度比 104.8%、予算達成率 99.9%）の 929,832,569 円と更に増加することができました。費用の内訳として、人件費はベースアップ加算による処遇改善及び令和 3 年度実績に連動させた夏季賞与支給などの要因により大きく増加し 61,027,894 円増（前年度比 110.6%、予算達成率 102.8%）の 635,618,219 円となりました。また光熱費や食材の高騰により事業費及び事務費は令和 3 年度と比べ、それぞれ 106.0%、113.1%と大きく増加する結果となりました。

《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	R03 年度	R04 年度	増減
事業活動収入	930,828,406	989,424,614	58,596,208
事業活動支出	778,832,846	863,612,335	84,779,489
事業活動収支差額	151,995,560	125,812,279	△26,183,281

《事業活動収入》

単位：円

	R03 年度	R04 年度	増減
就労事業収入	31,815,171	44,878,063	13,062,892
福祉サービス収入	886,842,410	929,832,569	42,990,159
その他	12,170,825	14,713,982	2,543,157
計	930,828,406	989,424,614	58,596,208

《事業活動支出》

単位：円

	R03 年度	R04 年度	増減
人件費	574,590,325	635,618,219	61,027,894
事業費	98,385,678	104,284,285	5,898,607
事務費	63,483,195	71,853,225	8,370,030
就労支援事業支出	37,950,666	49,290,831	11,340,165
その他	4,422,982	2,565,775	△1,857,207
計	778,832,846	863,612,335	84,779,489

2. ゆらくの里拠点

ゆらくの里（入所支援、生活介護、短期入所）、風鈴山荘（共同生活援助、短期入所）、

《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	R03 年度	R04 年度	増減
事業活動収入	517,631,592	512,129,582	△5,502,010
事業活動支出	424,784,791	432,842,764	8,057,973
事業活動収支差額	92,846,801	79,286,818	△13,559,983

《事業活動収入》

事業活動収入は、5,502,010円減（前年度比98.9%、予算達成率106.0%）の512,129,582円となりました。コロナの終息により帰省者が増加したことや体調を崩され入院される方が増えたことなど前年度を下回る要因となりました。令和4年度に定員をほぼ満床にするすることができたことから、令和5年度は増加の予定であります。なお、令和3年度の福祉収入には、ゆらくの里デイ（現 JOY）の収入が、27,168千円含まれており、実質上、事業活動収入は20,000千円以上の増加であります。

単位：円

	R03 年度	R04 年度	増減
就労事業収入	—	—	—
福祉サービス	507,315,155	500,042,428	△7,272,727
その他	10,316,437	12,087,154	1,770,717
計	517,631,592	512,129,582	△5,502,010

《事業活動支出》

人件費は、ベースアップ加算による処遇改善及び夏季賞与の支給増などが要因となり増加したこと、風鈴山荘の外壁改修の実施などが要因となり費用増となりました。

単位：円

	R03 年度	R04 年度	増減
人件費	311,828,449	316,856,984	5,028,535
事業費	71,844,602	72,477,026	632,424
事務費	37,066,391	41,077,924	4,011,533
就労支援事業支出	—	—	—
その他	4,045,349	2,430,830	△1,614,519
計	424,784,791	432,842,764	8,057,973

3. 今人拠点

今人（生活介護、就労継続B型、就労定着）、すみれの里（生活介護、就労継続B型）

《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	R03 年度	R04 年度	増減
事業活動収入	147,873,191	158,676,717	10,803,526
事業活動支出	137,221,248	151,795,043	14,573,795
事業活動収支差額	10,651,943	6,881,674	△3,770,269

《事業活動収入》

事業活動収入は、10,803,526円増（前年度比107.3%、予算達成率90.2%）の158,676,717円となりました。就労事業収入は、飲食業の回復が目覚ましく増加に転じました。福祉サービス収入は、令和3年度の改善後ではありますが、僅かではありますが増加しております。ご利用者の獲得やお休みされるご利用者様への利用の働きかけなどを行ってきました。

単位：円

	R03 年度	R04 年度	増減
就労事業収入	18,000,575	26,609,659	8,609,084
福祉サービス	128,915,360	131,030,912	2,115,552
その他	957,256	1,036,146	78,890
計	147,873,191	158,676,717	10,803,526

《事業活動支出》

事業活動支出は、14,573,795円増（前期比110.6%、予算達成率100.5%）の151,795,043円となりました。ベースアップ加算による処遇改善及び夏季賞与の支給増などが要因となり人件費が増加しました。また就労収入が大幅に増加したことで、変動費（材料費等）も増え、就労支援事業支出が増加しました。

単位：円

	R03 年度	R04 年度	増減
人件費	95,663,182	103,230,627	7,567,445
事業費	10,722,497	11,518,377	795,880
事務費	10,519,714	10,513,101	795,880
就労支援事業支出	20,093,256	26,490,797	6,397,541
その他	222,599	42,141	△180,458
計	137,221,248	151,795,043	14,573,795

4. 地域拠点

しえ〜く（相談支援）、はぐらいぶじょい（放課後等デイサービス）、のあ（共同生活援助、短期入所）、我楽（生活介護、就労継続B型）、そ〜る（行動援護、移動支援等）

《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	R03年度	R04年度	増減
事業活動収入	268,297,362	323,218,687	54,921,325
事業活動支出	219,800,546	283,574,900	63,774,354
事業活動収支差額	48,496,816	39,643,787	△8,853,029

《事業活動収入》

事業活動収入は、54,921,325円増（前期比120.4%、予算達成率99.8%）の323,218,687円となりました。コロナの影響がなくなってきたことで飲食関係の活動が大きく改善されました。また福祉収入においても、利用希望者の増加などにより各事業の収入が増えました。なお、令和3年度は、ゆらくの里デイ（現 JOY）が、ゆらくの里拠点に27,168千円含まれていたため、実質上、事業活動収入は、約27,753千円の増加であります。

単位：円

	R03年度	R04年度	増減
就労事業収入	16,703,035	22,726,276	6,023,241
福祉サービス	250,611,895	298,759,229	48,147,334
その他	982,432	1,733,182	750,750
計	268,297,362	323,218,687	54,921,325

《事業活動支出》

事業活動支出は、63,774,354円増（前期比129.0%、予算達成率108.2%）の283,574,900円となりました。ベースアップ加算による処遇改善及び夏季賞与の支給増などが要因となり人件費が増加しました。また就労収入が大幅に増加したことで、変動費（材料費等）も増え、就労支援事業支出が増加しました。なお、令和3年度は、ゆらくの里デイ（現 JOY）の費用が、ゆらくの里拠点に19,342千円含まれていたため、実質上、事業活動支出は、約44,432千円の増加であります。

単位：円

	R03年度	R04年度	増減
人件費	167,098,694	215,530,608	48,431,914
事業費	17,359,536	22,443,090	5,083,554
事務費	16,886,002	22,196,490	5,310,488
就労支援事業支出	18,301,280	23,311,908	5,010,628
その他	155,034	92,804	△62,230
計	219,800,546	283,574,900	63,774,354

5. 就労事業活動

《活動別収入》

11の就労活動を提供しておりますが、令和3年度との比較において、収入は7事業で増加（新規1事業含む）しました。主に飲食業の収入が、コロナの影響が軽減したことで著しく改善しました。

個別の活動については、令和4年6月より、ふれあいキッチンSORA（レストラン業）は、香芝市総合福祉センターへ戻り運営しております。また、ふたかみ文化センター2階の空いたスペースに新たなお店（和-nagomi-食堂）をオープンしました。飲食店の新商品としては、モンステラカフェにおいて「生食パン」の製造販売がスタートし売り上げに大きく貢献しております。

就労活動全体の収入アップにより、工賃を事業活動収支より支給することができるようになりました。今後、ご利用者の要望も踏まえ新たな活動提供も検討して行き、活動の活性化、工賃の向上を図ります。また工賃アップは、福祉収入報酬算定基礎につながっていることも意識して運営を行ってまいります。

単位：円

活動名		R03年度	R04年度	増減	
今人	ふえりーちえ（パン）	7,757,438	9,865,395	2,107,957	127.2%
	そ〜じや（掃除）	2,275,656	2,837,651	561,995	124.7%
	内職	374,796	337,811	△36,985	90.1%
	計	10,407,890	13,040,857	2,632,967	125.3%
我楽	菓子	5,555,223	7,611,180	2,055,957	137.0%
	カフェ	11,154,940	14,749,686	3,594,746	132.2%
	内職	29,582	18,180	△11,402	61.5%
	和食堂	—	418,150	418,150	—.%
計	16,739,745	22,797,196	6,057,451	136.2%	
すみれ	BDF	301,355	346,484	45,129	115.0%
	畑	106,760	100,500	△6,260	94.1%
	内職	119,948	102,300	△17,648	85.3%
	レストラン	7,145,282	13,019,518	5,874,236	182.2%
計	7,673,345	13,568,802	5,895,457	176.8%	
合計		34,820,980	49,406,855	14,585,875	141.9%

※内部売上を含む。

《活動別収支》

単位：円

活動名		売上	経費	利益	利益率
今人	ふえりーちえ (パン)	9,865,395	9,935,025	△69,630	—
	そ〜じや (掃除)	2,837,651	2,765,514	72,137	2.5%
	内職	337,811	517,845	△180,034	—
	計	13,040,857	13,218,384	△177,527	—
我楽	菓子	7,611,180	7,852,368	△241,188	—
	カフェ	14,749,686	13,964,437	785,249	5.3%
	内職	18,180	700,460	△682,280	—
	和食堂	418,150	1,050,789	△632,639	—
	計	22,797,196	23,568,054	△770,858	—
すみれ	BDF	346,484	1,295,685	△949,201	—
	畑	100,500	85,771	14,729	14.6%
	内職	102,300	709,263	△606,963	—
	レストラン	13,019,518	12,209,693	809,825	6.2%
	計	13,568,802	14,300,412	△731,610	—
合計		49,406,855	51,086,850	△1,679,995	—

《活動経費（原価）率》

材料費、労務費、経費それぞれの金額は、収入増に伴い増加しております。収入（特に飲食業）が大きく改善したことから、収支がプラスで運営できる活動も出ております。食材及び光熱費の高騰により支出増となっておりますが、価格の見直しや運営努力による少しでも多くの工賃をお支払いできる仕組みづくりを行なっていきます。

単位：円・%

活動名		材料費		労務費		経費		計
今人	ふえりーちえ (パン)	3,080,695	31.2	2,759,587	28.0	4,094,743	41.5	9,935,025
	そ〜じや (掃除)	—	—	1,679,985	59.2	1,085,529	38.3	2,765,514
	内職	—	—	431,924	127.9	85,921	25.4	517,845
	計	3,080,695	23.6	4,871,496	37.3	5,266,193	40.3	13,218,384
我楽	菓子	1,969,941	25.8	2,281,984	29.9	3,600,443	47.3	7,852,368
	カフェ	6,592,306	44.6	1,463,912	9.9	5,908,219	40.0	13,964,437
	内職	—	—	700,460	3852.9	—	—	700,460
	和食堂	367,109	87.7	7,680	1.8	676,000	161.6	1,050,789
	計	8,929,356	39.1	4,454,036	19.5	10,184,662	44.6	23,568,054
すみれ	BDF	14,148	4.0	43,920	12.6	1,237,617	357.1	1,295,685
	畑	23,137	23.0	—	—	62,634	62.3	85,771
	内職	—	—	674,770	659.5	34,493	33.7	709,263
	レストラン	4,543,540	34.8	2,466,840	18.9	5,199,313	39.9	12,209,693
	計	4,580,825	33.7	3,185,530	23.4	6,534,057	48.1	14,300,412
合計		16,590,876	33.5	12,511,062	25.3	21,984,912	44.4	51,086,850

※外注加工賃（外注仕入）は、材料費に含む。

※割合は、対売上高比率

◆パン事業〔今人：生活介護事業など ふぇり〜ちえ〕

感染症対策により、販売活動の休止・制限がありました。徐々に緩和されたことで売上が向上しました。特に6月より工事中で販売制限のあった香芝市総合福祉センターでの通常販売が再開されたことや通所事業を対象にした定期的なパンセールの実施により、収入は、令和3年度と比較し127.2%となっております。

令和5年度も継続して、パンセールやイベント企画などを行ない、売上向上とご利用者様への安定した仕事提供を行えるよう努めます。

◆掃除事業〔今人：就労移行支援事業 そ〜じや〕

令和4年度からは、ゆらくの里清掃委託費を改定し、追加のオプション作業である公用車洗車の実施、新たに香芝市より尼寺廃寺跡清掃の委託を受け売上目標を達成できるよう取り組んできました。コロナウイルス感染症の影響につき、業務委託先の清掃が縮小することもありましたが、その分普段実施できていない部分の清掃等を行ない、環境美化に努めました。

令和5年度も継続して就労収入を向上できるよう努めます。

◆内職班〔今人：生活介護事業〕

内職作業班では、ご利用者様がやりがいや興味をもって取り組める新たな活動を模索することを継続して取り組みました。新しいお仕事として、袋に砂を入れる作業、ストラップ作成、洗濯台磁石貼り付け等のお仕事を提供しております。今後も新しい内職作業を模索、提供していき、チャレンジすることでご利用者様のできる作業が一つでも多く増え、ご本人の自信に繋がるよう日々取り組んでいきます。

◆製菓事業〔我楽：就労継続B型事業 スウィートファクトリー モンステラ〕

福祉事業としては、事業所実習を積極的に受入れることを行ない、令和4年度では、スイーツファクトリーモンステラで就労継続B型に1名の利用者と契約をすることができました。

ご利用者様への支援方針を「ご利用者様自身が成長を感じられるような活動を提供する」として、ご利用者様主体で製造できる商品を中心に活動の充実に向け取り組みました。

就労活動の収支改善に向けた取り組みとしては、地域とのつながりを大切にし、近隣地域より定期的に受注いただけるように営業活動を行った結果、自治会のイベントでの贈答品として、学童保育所のおやつとして受注を定期的に受けることができ、収入増につながりました。その他販売先として、道の駅などで商品を置き売りできるようにするなど営業活動に取り組み、継続して販路拡大と収入増につなげていきたいと考えます。

◆カフェ事業〔我楽：就労継続B型事業 ナチュラルカフェ モンステラ〕

就労収支の改善に向けては、新商品の開発・販売による収入増と経費削減による支出減に取り組んできました。上期は約2年の歳月をかけ、開発した新作「生食パン」「優香」「穂香」が完成し製造販売を開始しました。5月に近鉄奈良百貨店で催事販売を行い数多くのお客様から好評を得ることができ、奈良テレビの番組でも紹介されました。

9月に入り、産地直売「よってって」高田店で生食パンの店頭販売を開始し、令和5年1月には「よってって」広陵店がオープン。「生食パン」「優香」「穂香」の店頭販売を実施しております。

今後もさらにリピーターを増やし収入アップにつなげ、新作生食パンを軸にイベント開催を行い売上の向上に取り組み、ご利用者様の工賃アップを目指すと共に、障がいのある方の働く場を創設することに繋げていきたいと考えます。

◆食堂事業〔我楽：就労継続B型事業 ふれあい食堂「なごみ」〕

ふたかみ文化センター2階に1月オープンしました。ご利用者様の活動の場として新たに開設されました。

◆レストラン事業〔すみれの里：B型事業 ふれあいキッチン「空・SORA」〕

令和4年6月より香芝市総合福祉センターに再度移転し業務を再開しており、これまで同様の形でレストラン業務・弁当製造・配達業務を行っております。

毎日のご利用者様の業務として出勤後は掃除、開店準備、お弁当の盛り付け作業を役割分担して取り組んでいただき、店舗営業中はキッチンとホールに分かれて、接客やレジ対応、配膳、下膳、調理、洗い物、盛り付け等の作業をしていただいております。

余暇活動についても、皆さんの行きたいところ、やってみたいことを取り入れ実施しております。

令和3年度同様、弁当業務に力を入れ、役場、学校関係より注文いただき、製造・配達を行いました。また学童保育所に春休みや夏休み期間中のお弁当提供や、老人会のお弁当提供を実施しております。

就労収支の改善については、来店者を増やすために宣伝チラシを作成し、ご利用者様とともに近隣住宅にポスティングする活動やロビーでの配布などを実施しております。毎月の売上目標の設定を行っており、徐々にではありますが、前年比をクリアするだけでなく、コロナ前の水準に向けて改善方向にあります。

◆モンステラファーム〔すみれの里：就労継続支援B型事業〕

年間計画を立て、活動内容の充実を図ることにより売上向上を目指しました。

(業務内容)

- ・野菜づくり、畑内の除草、石拾い、水やり、収穫作業、出荷作業

畑での作業は、直射日光による紫外線等の影響を無くすために必ず軍手と帽子を着用し外部での作業をしています。無理の無い範囲で収穫や運搬を職員と一緒に、活動内容についても職員と相談しながら実施しました。

販売先の福祉センターにおいて、地域の方とのつながりやご利用者様の仕事として取り組んでいます。しかしご利用者様の高齢化・重度化に伴い農作業に従事できる方の減少の為、ご利用者様への活動提供としてのあり方を検討事項として継続懸案となっております。

◆環境班〔すみれの里：就労継続支援B型事業〕

= 廃油回収・空き缶、新聞、段ボールの回収 =
(業務内容)

- ・小中学校・保育所給食、香芝市廃食油回収事業設定回収拠点、鎌田地区の廃食油回収
- ・回収した廃食油の濾過並びに濾過廃食油の貯蔵タンクへの移し替え
- ・移し替えたポリ容器の洗浄拠点回収廃食油の濾過並びに貯蔵タンクへの移し替え貯蔵タンクの清掃作業

廃油回収については計画的に実施することができました。ダンボール・古紙回収も定期的に行うことが出来ており、少しではありますが売上を残すことができております。

※香芝市との協議の結果、令和4年度をもって廃油回収活動を終了することとなっております。

◆内職班〔すみれの里：生活介護事業〕

= タッパーの組立・ラベル貼り・段ボールへの梱包作業 =

ご利用者様のできることに応じて作業工程を割り振り、機能訓練として作業に携わっていただけるようにしております。

週間活動予定を定期的に設定し、重度のご利用者様であっても従事しやすく、意欲的に参加される方も多く、やりがいに繋がっている活動であります。

□資金残高について

◆資金（預金残高）の推移について

1. ゆらくの里拠点・地域拠点

単位：円

	平成31年 3月31日	令和2年 3月31日	令和3年 3月31日	令和4年 3月31日	令和5年 3月31日
実残高	171,136,846	182,104,118	200,635,193	302,465,095	374,522,106
積立	114,030,000	110,298,000	79,700,000	123,100,000	173,500,000
会計上 現預金残	57,106,846	71,806,118	120,935,193	179,365,095	201,022,106
前期 比較	↓ 10,808,132	↑ 10,967,272	↑ 18,531,075	↑ 101,829,902	↑ 72,057,011

※前期比較は、預金実残高で比較

2. 今人拠点

単位：円

	平成31年 3月31日	令和2年 3月31日	令和3年 3月31日	令和4年 3月31日	令和5年 3月31日
実残高	54,159,856	55,755,968	47,323,901	62,402,289	64,215,674
積立	25,940,000	26,740,000	26,740,000	26,740,000	26,740,000
会計上 現預金残	28,219,856	29,015,968	20,583,901	35,662,289	37,475,674
前期 比較	↑ 1,378,473	↑ 1,596,112	↓ 8,432,067	↑ 15,078,388	↑ 1,813,385

※各事業の収支増に伴い、法人全体の指標より良いと思われる。

◆積立金の使用目的について

現在の積立残高は以下のとおりであります。

単位：円

科目	ゆらくの里	今人	地域	計
施設整備等積立金	136,400,000	13,000,000	35,200,000	184,600,000
工賃変動積立金	—	1,495,000	400,000	1,895,000
設備等整備積立金	—	12,245,000	1,500,000	13,745,000
計	136,400,000	26,740,000	37,100,000	200,240,000

□令和4年度研修等報告

1. ゆらくの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月 7日	自閉症支援基礎講座 「学習スタイル」	WEB 研修	小川、山本、 疋田、森口、 鈴木、谷口
5月 21日	自閉症支援基礎講座 「評価から支援へ」	WEB 研修	小川、山本、 森口、鈴木、 谷口
6月 4日	自閉症支援基礎講座 「構造化のアイデア」	WEB 研修	小川、山本、 疋田、森口、 鈴木、谷口
6月 18日	自閉症支援基礎講座 「コミュニケーション」	WEB 研修	小川、山本、 疋田、森口、 鈴木
6月 24日	自閉症支援基礎講座 「強度行動障害における人材」とは何か	WEB 研修	小川、山本、 疋田、森口、 谷口
6月 25日 26日	自閉症支援研修 アセスメントセミナー	豊中セミナールーム	小川
9月 17日 18日	意思決定支援と虐待防止に関する研修会		森田
1月 26日 27日	障害者支援施設部会全国大会近畿地区大阪大会	大阪国際交流センター	森田、岡
2月 6日	奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修 奈良県	奈良県産業会館	平

2. 今人・我楽・すみれの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月 21日	自閉症支援基礎講座 「評価から支援へ」	WEB 研修	田中
6月 15日 16日 17日	就業支援基礎講座 奈良県障害者職業センター	ポリテクセンター奈良	後藤
6月 18日	自閉症支援基礎講座 「コミュニケーション」	WEB 研修	田中
6月 25日 26日	自閉症支援研修 アセスメントセミナー	豊中セミナールーム	松本亜弥加、 大藪
9月 15日	食品コンプライアンスセミナー 日本セルフセンター	WEB 研修	松本はるか
2月 6日	奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修 奈良県	奈良県産業会館	山林

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
3月11日	暮らしネットフォーラム8 奈良県暮らしを支えるネットワーク	奈良県総合福祉センター	松本亜弥加

3. 地域支援（児童）

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
2月20日	発達障害者支援研究会（基礎研修） 奈良県発達障害者支援センターで いあ〜	オンライン配信	浦田、的場 村井、今仲 塩川、田中 西田

4. 地域支援（しえーく）

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月17日	共生型まちづくりについて 葛城市相談支援事業所連絡会議	ゆうあいステーション	中島、佐藤
6月17日	医療ケア児に関する事例紹介 大人と子どもの意識の違いについて	ゆうあいステーション	中島、佐藤
9月15日	就労アセスメントについて 就労支援部会	香芝市福祉センター	中島
9月20日	依存症について 葛城市相談支援事業所連絡会議	ゆうあいステーション	中島
10月5日	就労支援部会 企業見学会 三市一町自立支援協議会	タビオ(株)	中島
2月28日	中和地区3市1町障害者自立支援協 議会全体会 三市一町自立支援協議会	奈良県産業会館	中島、佐藤

5. 事業企画推進室

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月16日 5月25日 7月19日	見学研修 東大寺福祉事業団 重症心身障害児施設	東大寺福祉事業団	橋本

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月29日	Lean on Me セミナー SDGsにおける障害福祉の重要性	Web	西原
7月6日 7日	介護福祉業界の採用PR講座 (株)Blanket	Web	西原
7月20日	Lean on Me セミナー eラーニングの正しい使い方	Web	中山
7月29日	安全運転管理者講習 奈良県安全運転管理者協会	ふたかみ文化センター	西原
8月4日	採用力強化セミナー (株)東京リーガルマインド	Web	中山、西原、 橋本
8月31日	Lean on Me セミナー 採用コスト最適化の知識習得セミナー	Web	中山
9月5日	令和4年度 福祉人材採用力UPセミナー 奈良県人材センター	Web	中山
9月15日	社会保険法改正について SmartHR	Web	中山
9月27日	採用力強化セミナー (株)東京リーガルマインド	Web	西原

6. 厨房

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
11月10日	経口維持支援の実践 奈良県栄養士会福祉事業部	奈良県福祉総合センター	米田

苦情・要望等についての解決状況

令和4年4月1日から令和5年3月31日

事業区分	受付			苦情先		苦情内容				処理状況	
	電話	直接	その他	第三者委員	施設	施設設備（運営）に対するもの	支援（支援者）に対するもの	利用者に対するもの	その他	対応解決済	継続実施中
ゆらくの里	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
今人・我楽すみれの里	—	1	1	—	2	—	—	2	—	2	—
児童課	1	—	—	—	1	1	—	—	—	1	—
のあ	—	8	—	—	8	—	8	—	—	8	—
そ〜る 123	1	—	—	—	1	—	1	—	—	1	—
計	2	5	1	—	8	1	5	2	—	8	—